

道の駅たかの 2023.6.20

10周年記念“大”感謝祭

6月3日(土)、4日(日)の2日間で、「道の駅たかの10周年記念“大”感謝祭」を開催しました！記念セレモニー終了後、芝生広場にて木山市長、林議長、根波駅長、青才会長らによる庄原市の花「桜」の記念植樹を行いました。「出荷者ブース」では20団体を超える会員さんによるグルメや加工品、手芸品などの販売を行ったほか、「道の駅連携ブース」では、近隣の人気の道の駅によるグルメ販売、特設ステージでは地元の団体による演奏やダンス、「広島県警察音楽隊」の演奏、ご当地ヒーロー「安芸戦士メープルカイザー」のショーなど様々なイベントを開催。延べ1万5千人のお客様にご来場いただき大盛況でした。出店いただいた皆さん、ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました！新たに歩み始めた11年目もこれまで以上に盛り上げて行きましょう♪

(広報・企画グループ)
庄原市高野町下門田49
☎0824-86-3131
michieki_tak@takanoyama.jp
https://www.takanoyama.jp
★Twitter・インスタも更新中♪



記念植樹では八重紅枝垂れ桜を植樹



出荷者ブースでは周年記念イベントで初のお酒の試飲と販売を実施♪



警察音楽隊の演奏は、アンコールが沸き起こる程大盛り上がり！



左から気象予報士の塚原さん、司会の中西敦子アナ、大道芸人れもんさん

★ガラポン抽選会で比婆牛とりんごジュースを当てたラッキーな皆さん♪



昨夏より道の駅連携でお付き合いのある高知県の道の駅キラメッセ室戸の皆さん♪



メープルカイザーは子供に大好評！



三次・庄原のダンスグループ「DA FLY CREW」



東城町で農業法人を営んでおります、瀬尾憲雅と申します。中学までは東城にいましたが、高校は県立広島工業高校を卒業し広島市役所に就職しました。その後、長男ということもあり、実家の農業を継ぐことにし、平成8年に地元に戻って就農しました。農園名の「しんや」は地域で使われている屋号が由来です。

就農当時は、両親が水稻や原木椎茸、繁殖和牛の肥育などをしており、それを引き継ぐ形で色々な関係機関にお世話になり、水耕栽培でチンゲンサイを、その後、土耕でのトマト栽培も始め、農協へ出荷していました。

平成25年には株式会社を設立し、現在は2ヘクタールの圃場で、葉菜類、果菜類、根菜類、果樹等約25品目を従業員2人と私で栽培し、主に道の駅たかの、福山市のスーパー「エブリイ」、フジグラン神辺の産直コーナー、広島市の「とれたて元気市」などへ出荷しています。



サニーレタスとミニ白菜の圃場。

収穫した野菜は機械で袋詰めして出荷します。

瀬尾さん(写真右)と従業員の皆さん。

野菜を栽培する上で特に意識していることは、野菜の価格が高くなる時期にどれだけ沢山の野菜を出荷できるかということです。8月～9月にサニーレタス、ミニ白菜、トマト、ミニトマト、ナスなど、品薄の時期にニーズがある野菜をしっかりと作って出荷することを心がけています。そのためには、種まき、苗の定植などが計画通りに出来ているかを日々チェックしていかなければなりません。しかし、天候や鳥獣害などによりなかなか難しいのが現実です。

苦労していることは、多品目の栽培計画と、品目に適した肥料の投入、鳥獣害の対策などです。白菜やブロッコリーはホウ素が欠乏すると生理障害を起こしたりするので、ホウ素入り肥料を投入したりと作物によって使う肥料に気をつけています。

鳥獣害については、イノシシ、サル、ヌートリア、カラスなど沢山の獣害があります。中でもサルは昼間に集団で来て、野菜を食べ尽くすまで毎日のように来ます。近所の猟師さんに駆除をお願いしていますが、なかなか被害が減らず、苦慮しています。

そうした中、令和3年の11月に待望の第一子（息子）が誕生しました。育児はとても大変ですが、勉強しながら妻と育児も頑張っています。

苦労も多い農業ですが、息子の成長がとても嬉しく、仕事を頑張れるモチベーションになっています。

肥料や資材が高騰している昨今、労力に見合った面積・規模をいかに維持し、今後も持続可能な農業にしていくかを日々考えながら励んでいきたいと思っています。